

(1) ほ場整備の目的と効果

ほ場整備の目的としては、農作業の効率性を高め、農業の生産性を向上させることが挙げられる。

その効果として、①優良農地に変換させることにより、耕作放棄される農地や無秩序な土地利用を防ぎ、農業の振興や景観の保全などにも貢献、②河川から、水田・水路、ため池に至る通水の効率性を高めることにより、生態系のネットワーク創出による生物多様性の創出、などが挙げられる。

(2) 水田の汎用化におけるほ場整備での留意点

1) 農業の生産性向上での配慮

米、麦、大豆等の大型機械による生産性向上化のための大区画化や暗きよによる適切な地下水管理を可能とする排水能力の強化に配慮する。

2) 耕作放棄地の活用への配慮

汎用化整備に耕作放棄地を取り込み、優良農地への変換させ、地域の中心となる経営体へ集積できるように配慮した整備を行う。

3) 景観への配慮

地域全体・施設周辺との効果的な調和を図り、地域の景観づくりに貢献できるように配慮する。

4) 生物多様性への配慮

汎用化整備の中で、生物の生息環境への影響を緩和するため、ミティゲーション5原則に配慮した整備を行う。